

# 日本海スルメイカ漁場調査

(抄 録)

大 川 光 則 ・ 黄金崎 栄 一

1997年4月～10月に試験船東奥丸（140トン）でスルメイカの漁場調査等を実施した。

1997年本県日本海沿岸域に来遊したスルメイカは、例年並の5月28日に漁期が始まった。日本海主要4港（深浦、鯉ヶ沢、下前、小泊）における漁獲量は7,641トンと、近年では1996、1994年に次ぐ好漁で、C P U E（1日1隻当たり漁獲量）も798kgと、前年の1,032kgには及ばないものの近年では高い水準にあった。

また、銘柄別漁獲割合は、15尾入れ（1箱5kg）以上の大型個体の割合が24.5%となっており、前年の9.8%に比べ大型個体の割合が高かった。

試験船の漁場調査により5月中～下旬に佐渡島周辺での漁場形成を確認し、標識放流を行ったところ、その再捕結果から沿岸寄りに北上する状況が確認された。

また、本県沖への南下は9月中旬頃から始まったと推測され、本格化したのは10月中旬以降であった。

---

発表誌名：平成9年度イカ釣り漁場開発調査資料23号（平成10年5月）

平成9年度外洋性イカ（スルメイカ・アカイカ）に関する生物測定・標識放流海洋観測結果基礎資料集（平成10年5月）青森県水産試験場